

望みに燃えて正しく強く

硬式野球部100周年

松商学園高校硬式野球部は今年、創部100周年を迎える。夏の甲子園の全国最多出場を誇り、プロ選手も多数輩出。記念式典や講演会など、さまざまな事業を予定しており、節目の年の甲子園出場に期待がかかる。



神事で必勝祈願する野球部の選手ら

野球部は1913（大正2）年創部。夏の甲子園にこれまで35回出場し、中島治康選手（故人）や上田佳範選手ら30人のプロ野球選手を輩出した。記念事業として、野球部の歩みと活躍をまとめた100年史を発行するほか、記念講演、記念招待試合を行う。11月には関係者を招いて記念式典を開く。また13年度、総合トレーニングセンターと屋内練習場の建設をはじめ、今まで以上に必勝祈願祭を、こ

必勝祈願祭

松商学園高校硬式野球部を応援する球友会は、必勝祈願祭を、こ



甲子園への思いを一人ずつ発表

のほど筑摩神社（松本市筑摩2）で開いた。今年で39回目。部員や監督、後援会、OB、保護者ら約120人が参加した。それぞれの代表者が神前に玉串をささげて

足立監督インタビュー

松商野球部を指導して

松商野球部を指導するに当たり、技術を教えるのはもちろん、信頼関係を築くことが何より大切だと実感した。秋から、数週間かけて全社員と個人面談を実施した。悩みや進路について、また私からの期待感など、選手とじっくり話すことができ、また勝ちへの熱い思いも聞けてよかった。普段の練習以外の時間を設けたことでより距離が近くなったと感じている。

夏に向けた取り組みの予定は、今年初めに、3月に静岡県富士市で4日間の合宿を予定している。同じ宿舎に泊ま



今年1年の方向性を確認するという意味で、合宿は有意義なものになるはず。実践的な練習をしながら基礎力も鍛える。また、合宿の他に大阪遠征も予定しており、精神的に取組んでいきたい。

選手達は100周年の意味合いを伝え自分たちがどうやって戦っていくべきかを話している。チームワークとチーム力で他に負けないこと。各自がそれ



野球部球友会やOB、保護者らが選手を激励

神事の後、学校に戻り、選手と監督が決意

表明。選手らは「突破」「真剣」など、それぞれの思いを込めた言葉を色紙に書き、読み上げた。

松山直弘主将（2年）は「チームワークがしっかりできてきた。個人でプレーするのではなく、力を合わせ全員野球で夏を戦ってほしい」と話した。監督は「100周年に戦えるのは光栄なことであり、多くの方の期待も感じている。先人のいいところを受け継ぎながら、新しいことに挑戦する温故知新の気持ちでこの特別な1年に臨みたい」と決意を新たにしました。

平成25年度 入学選抜要項

	入試区分	入試形式	願書受付		選抜日	発表日
			開始日	終了日		
● 普通科	一般入試	学力検査	2月19日	2月21日	2月26日	3月 5日
● 商業科	帰国生入試	個人面接	2月19日	2月21日	2月26日	3月 5日

- 普通科
 - 特別進学コース
 - 選抜進学コース
 - 文理進学コース
 - 総合進学コース
- 商業科